

## 学長挨拶



学長 長尾 省吾

香川大学は、6学部13学科、6研究科、2専門職大学院を擁する総合大学として、瀬戸内圏内の中枢都市に位置しています。昭和24年に新制国立大学として発足以来、旧香川大学と旧香川医科大学の統合、国立大学法人化を経て、現在の「国立大学法人香川大学」となりました。

本学は、世界水準の教育研究活動により、創造的で人間性豊かな専門職業人・研究者を養成し、地域社会をリードするとともに共生社会の実現に貢献することを理念としています。

学生教育では、昨年度から、一歩先に進みたい学生を育てるアドバンス・セミナーや学生が主体的に学修する特別教育プログラムであるネクストプログラム(グローバル人材育成、防災士養成、人間探求)を開始しました。そのうちの一つ、グローバル人材育成プログラムでは、4名の英語修学生が目標のレベルに到達し、留学準備に入っています。そのほか、グローバル化社会への対応として、平成34年度までに年間留学生受入れ400人及び日本人学生派遣100人を実現するために「4&1プラン」プロジェクトチームを立ち上げ、具体的方策の検討を開始しました。5月には、学生の主体的な学習習慣を育む学習ラウンジや英語で自由に会話を楽しむイングリッシュカフェ等を備えた施設「OLIVE SQUARE」を新設し、ソフト・ハード両面から多様な人材育成・交流を積極的に支援する環境の整備を行っています。

地域貢献では、文部科学省の支援の下、「地(知)の拠点整備事業」として、本学と県内の自治体が連携し、離島振興や街の活性化、定住促進対策などの地域活性化に取り組んでいます。昨年、開院30周年を迎えた医学部附属病院は、再開発整備を行っており、平成26年夏には南病棟が稼働を開始します。地域医療の中核として医療人の育成を行い、さらには災害拠点病院としての機能も充実させ、引き続き地域医療の高度化に貢献します。

さらに研究面でも、地域の発展に寄与する成果を着実にあげるとともに、その成果を香川から世界に向けて発信していきます。本学の画期的な生成方法発見により事業化が加速し、近年大きな話題ともなっている希少糖について、香川県と協定を締結し、国際的な研究拠点の形成を目指します。また、全国初の開かれた医療連携システムとして、香川県、香川県医師会、本学医学部を中心にスタートした「かがわ遠隔医療ネットワーク(略称: K-MIX)」は、国内外を問わず注目されています。

昨年度には、学生憲章を制定しました。これは、香川大学生としての行動指針・規範や大学生活を送る上での目標を学生達自身が定めたものです。本学は、学生と教職員が連携し、大学の質の向上、及び「地域に根ざした学生中心の大学」を目指し、地域や社会の期待に添えるよう大学改革を継続します。皆さまのご理解、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

## 目次

## プロフィール

学長挨拶	1
目次	2
理念・目標	3
沿革	4
大学憲章	5
学生七志 ~香川大学学生憲章~	6
組織図	7-8
役員員	9-10
香川大学の取り組み	11-12

## 学部・研究科

教育学部／教育学研究科	13
法学部／法学研究科	14
経済学部／経済学研究科	15
医学部／医学系研究科	16
工学部／工学研究科	17
農学部／農学研究科／愛媛大学大学院連合農学研究科	18
香川大学大学院 地域マネジメント研究科	19
香川大学大学院 香川大学・愛媛大学連合法務研究科	

## 施設

教育学部附属学校園	20
図書館	21
博物館	22
医学部附属病院	23-26
大学教育開発センター／アドミッションセンター	27
キャリア支援センター	
生涯学習教育研究センター／	28
総合生命科学研究センター／希少糖研究センター	
微細構造デバイス統合研究センター／	29
瀬戸内圏研究センター／総合情報センター	
社会連携・知的財産センター／危機管理研究センター	30
大学連携e-Learning教育支援センター四国	
インターナショナルオフィス	31
●国際研究支援センター ●留学生センター	
教育戦略室	
研究戦略室／地域連携戦略室／	32
保健管理センター	
広報室／大学評価室／男女共同参画推進室	33
教育学部附属教育実践総合センター／農学部附属農場	34
瀬戸内圏研究センター 庵治マリンステーション	
サテライトオフィス	35

## データ

役員員数	36
学生の定員及び現員	
●学部	37
●大学院	38
●教育学部附属学校園	39
単位互換協定書等の締結状況	40
平成26年度入学状況	41
入学者出身地	42
卒業生就職状況等	43
新司法試験受験状況・国家試験合格状況	44
日本学生支援機構奨学生数・施設等	45
財務状況	46
産学官連携	47

## 地域貢献・国際交流

公開講座	48
国際交流	
●外国人留学生、国・地域別	49
●学部別、留学生センター、研究科別	50
学術交流協定	
●大学間協定	51
●部局間協定・連携協力協定	52

## キャンパス

建物配置図	53-55
各施設面積	56
施設所在地一覧	57
各施設所在地	58

## 理念・目標

### 理念

世界水準の教育研究活動により、創造的で人間性豊かな専門職業人・研究者を養成し、地域社会をリードするとともに共生社会の実現に貢献する。

### 目標

#### ▶教育の目標

豊かな人間性と高い倫理性の上に、幅広い基礎力と高度な専門知識に支えられた課題探求能力を備え、国際的に活動できる人材を育成する。

#### ▶研究の目標

多様な価値観の融合から発想される創造的・革新的基礎研究の上に、特色ある研究を開花させ、社会の諸課題の解決に向けた応用的研究を展開する。

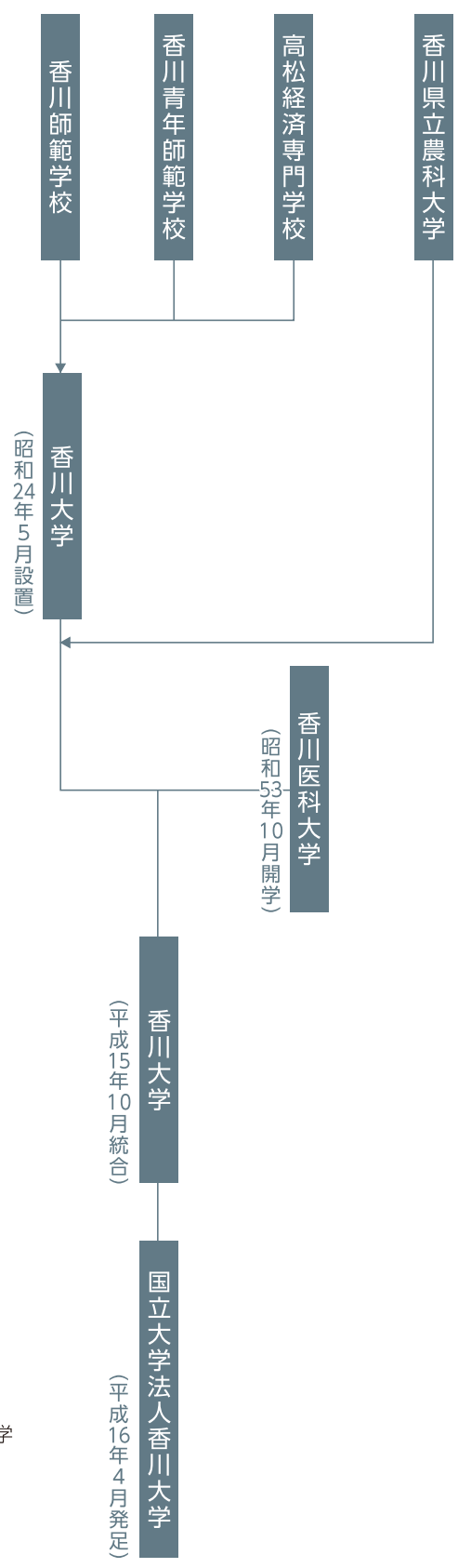
#### ▶地域貢献の目標

「知」の源泉として、地域のニーズに応えるとともに、蓄積された研究成果をもとに、文化、産業、医療、生涯学習などの振興に寄与する。



# 沿革

- 昭和24年5月 (1949年) 旧香川大学は、香川師範学校・香川青年師範学校を母体とした学芸学部及び高松経済専門学校を母体とした経済学部の2学部をもって発足
- 昭和30年7月 (1955年) 香川県立農科大学を国に移管し、農学部を設置
- 昭和35年4月 (1960年) 香川大学商業短期大学部を併設
- 昭和41年4月 (1966年) 香川大学学芸学部を教育学部に改称
- 昭和43年4月 (1968年) 香川大学大学院農学研究科(修士課程)を設置
- 昭和53年10月 (1978年) 香川医科大学開学
- 昭和54年4月 (1979年) 香川大学大学院経済学研究科(修士課程)を設置
- 昭和56年4月 (1981年) 香川大学法学部を設置
- 昭和58年4月 (1983年) 香川医科大学医学部附属病院を設置
- 昭和60年4月 (1985年) 香川大学大学院法学研究科(修士課程)を設置  
愛媛大学に香川大学、高知大学を参加大学とする  
大学院連合農学研究科(博士課程)を設置
- 昭和61年4月 (1986年) 香川医科大学大学院医学研究科(博士課程)を設置
- 平成4年4月 (1992年) 香川大学大学院教育学研究科(修士課程)を設置
- 平成8年4月 (1996年) 香川医科大学医学部看護学科を設置
- 平成9年10月 (1997年) 香川大学工学部を設置
- 平成12年4月 (2000年) 香川医科大学大学院医学系研究科  
看護学専攻(修士課程)を設置
- 平成14年4月 (2002年) 香川大学大学院工学研究科(修士課程)を設置
- 平成15年10月 (2003年) 旧香川大学と旧香川医科大学が統合し、新しい香川大学開学
- 平成16年4月 (2004年) 国立大学法人香川大学発足  
大学院工学研究科(博士課程)を設置  
大学院地域マネジメント研究科を設置  
大学院香川大学・愛媛大学連合法務研究科を設置



## 大学憲章

2007年3月26日制定

香川大学は、学術の中心として深く真理を探究し、その成果を社会に還元するとともに、環瀬戸内圏の中核都市に位置する大学であることを踏まえ、学術文化の発展に寄与することを使命とする。香川大学は、多様な学問分野を包括する「地域の知の拠点」としての存在を自覚し、個性と競争力を持つ「地域に根ざした学生中心の大学」をめざす。香川大学は、世界水準の教育研究活動により、創造的で人間性豊かな専門職業人・研究者を育成し、地域社会をリードするとともに共生社会の実現に向けて活動することを決意し、大学が拠って立つべき理念と目標を香川大学憲章としてここに制定する。

### ▶教育

香川大学は、豊かな人間性と高い倫理性の上に、幅広い基礎力と高度な専門知識に支えられた課題探求能力を備え、国際的に活動できる人材を育成する。

- (1) 明確なアドミッション・ポリシーのもとに、多様な入学者選抜を行い、向学心旺盛な学生を受け入れる。
- (2) 教育目標の達成に向けて効果的なカリキュラムを展開し、豊かな教養と高度な専門知識が習得できる教育を行う。
- (3) 先進的・実践的な教育を展開し、社会の期待に応える有為な人材を育成する。
- (4) 大学院を整備・拡充し、国際的に活躍できる高度専門職業人及び研究者を育成する。

### ▶研究

香川大学は、多様な価値観の融合から発想される創造的・革新的基礎研究の上に、特色ある研究を開花させ社会の諸課題の解決に向けた研究を展開する。

- (1) 創造的な研究の萌芽を促すとともに、その応用的展開を推進する。
- (2) 重点プロジェクト研究を推進し、世界最高水準の研究拠点を構築する。
- (3) 地域の発展に資する研究を推進する。
- (4) 研究分野の融合による新たな領域を創造し、特色ある学際研究を展開する。

### ▶社会貢献

香川大学は、「知」の源泉として地域のニーズに応えるとともに、蓄積された研究成果をもとに、文化、産業、医療、生涯学習などの振興に寄与する。

- (1) 社会が抱える課題に対応した実践的提言を行い、地域の活性化に貢献する。
- (2) 地域医療の中核機関として健康増進並びに医療福祉水準の向上に貢献する。
- (3) 地域社会が求める多様な教育プログラムを提供し、知識基盤社会における学習拠点をめざす。
- (4) 諸外国との学術・文化交流を推進し、国際交流の拠点をめざす。

### ▶運営

香川大学は、自主・自律的な教育・研究・社会貢献を推進するため、透明性が高く、機能性に優れた柔軟な運営体制を構築する。

- (1) 自己点検によって組織・制度を常に見直し、社会と時代の変化に対応しうる運営を行う。
- (2) 基本的人権を尊重し、国籍、信条、性別などによる差別を排除するとともに、構成員がその個性と能力を発揮しながら職務に専念できる安全かつ公正な教育・研究・労働環境を整備する。
- (3) 運営経費の大部分が国民から付託された資金であることを自覚し、これを適正に管理かつ有効に活用する。
- (4) 個人情報保護に努めつつ、情報を積極的に公開し、社会への説明責任を果たす。

## 学生七志 ~香川大学学生憲章~

2013年7月11日制定

私たちは、穏やかで風光明媚な瀬戸の島々を眺めつつ、しなやかで強健な心身を養い、その先に広がる交流や未来に思いを馳せます。

日本一コンパクトな香川から、日本一コシの強いうどんが生まれたように、私たちは時代を見すえ、感性を研ぎ澄まし、地域へ世界へと羽ばたいていきます。

かけがえのない時間を豊かで実りあるものとするために、香川大学生としてキラリと輝けるように、私たちの志を謳った学生憲章をここに定めます。

1. 学問や研究の世界に触れ 幅広い視野をもつ人になります
2. 新しい知識や技術を習得し 果敢に挑戦する人になります
3. つながり大切に 大きく豊かな心をもつ人になります
4. 夢を描き その実現に向けて努力する人になります
5. 小さな変化も見逃さず 大胆な発想で行動する人になります
6. 市民として責任ある行動に努め 社会に貢献する人になります
7. グローバル社会の中で地域とともに 活躍する人になります

